



東小だより

やさしく かしこく たくましい 東っ子

第18号

桐生市立東小学校

令和4年12月14日

(文責 鈴木 智行)

人権について学んでいます（人権週間）

12月4日の世界人権デーに合わせ、東小では16日までを人権について学ぶ「人権週間」として位置づけ、全校で次のような学習を進めています。

①全校朝会で校長からの人権講話

「人権は、すべての人が持っている『幸せになるための権利』であり、お互いの人権を大切にすることで、誰もが楽しい学校生活を送ることができる」という話をしました。また、人権学習において、違いを受け入れることができる広い心をもてるようにすること、自分が困っている時、または、友達が困っている時にどうすればよいのかについて学ぶこと、の2つのめあてを伝えました。

②人権の木

友達のがんばっているところや、友達にしてもらってうれしかったことなどを花びら型の付せんに書き、台紙に貼り付けていきます。お互いのよいところを見つけたり認め合えたりできるようにします。



③SOSの出し方・受け方

<まだまだ花びらが増えます>

自分が不安や悩みを感じているときにどのように相談したらよいか、また、友達が悩んでいるときにどのように話を聞いてあげたらよいか、について学びます。

その他、人権標語づくりや人権ポスターへの応募などの取組を通して、人権についての理解を深めていきます。また、2年生、6年生では外部の方を講師に招き、人権を大切にするためにはどうしたらよいかについてお話を聞きました。



<人権教室 2年>

がんばりました！ 持久走大会

12月7日(水)、冬晴れの下、持久走大会が行われました。この日までおよそ3週間、「持久走の走り方でたのしく走る」を全校のめあてとし、20分休みや体育の時間に練習を重ねてきました。レース本番では、姿勢よく走る姿や呼吸と足のリズムを合わせて走る姿が見られ、練習の成果がしっかりと



<スタート前のひとコマ>



<1年生の力走>

発揮できていました。また、

児童は順位やタイムなど個人のめあてに向かって最後まで走り切ることができました。

大会後の児童の感想には「練習の時よりタイムが上がってうれしかった」「最後まであきらめずに走り切れてよかった」など、それぞれが全力でがんばって取り組むことができた様子うかがえました。